

学内でのダブルスクールは万全

資格試験対策講座<エクステンションセンター>

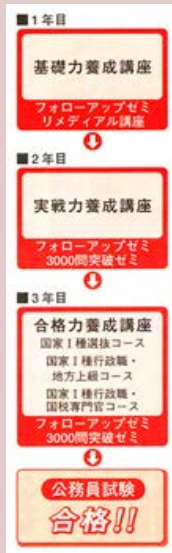
エクステンションセンターでは、難関国家試験合格へのバックアップを行っている。その中でも特に関心の高い「司法試験受験対策講座」「公務員試験講座」「会計士講座」では、専門学校との提携や専門分野の講師を招き、実践的な指導をするなど、万全のサポート体制を敷いている。

会計士講座	公務員試験講座	司法試験対策講座
 <p>会計士入門講座(7月21日、生田キャンパス)</p>	 <p>合格力養成講座(7月19日、生田キャンパス)</p>	 <p>基礎力講座(7月19日、神田キャンパス)</p>
<p>公認会計士試験合格を目標とした講座で、大原簿記学校と提携し、本学独自のプログラムを展開している。「会計士入門講座」「会計士基礎講座」「会計士講座特別プログラム」の順に進め、2年間で短答式試験合格レベルまで引き上げる。3年目以降は各自の目標到達レベルに応じ適切なカリキュラムで受講出来る。</p>	<p>国家公務員採用I種試験や地方上級試験等を目指すための本学独自のプログラムで、早稲田セミナーと提携し、専任講師の派遣とカリキュラムの作成まで、全面的な協力体制を整えている。「基礎力養成講座」「実戦力養成講座」「合格力養成講座」と進み、3年間にわたる講義で、無理なく着実に実力がつくよう計画されたプログラムである。</p>	<p>1年目の「憲民刑入門講座」に始まり、「基礎力講座」「実力講座」と3年計画で合格を目指す。まず、6科目(憲法・民法・刑法・商法・民事訴訟法・刑事訴訟法)の基本を学んだあと、さまざまなゼミや演習講座で合格に必要な知識と技術を習得出来るようになっている。専門学校と同じ講義を安価で受講出来るのも魅力だ。</p>
<p>望月 渚さん <商1></p>  <p>入学してすぐ、学部の授業と並行して受講しています。会計士入門講座の場合、授業期間中は週3回開講しています。現在、「簿記」と「管理会計論」の基礎を学んでいます。会計士講座は、短期に短答式試験合格を目指すカリキュラムが組み立てられており、目標をはっきりと意識しながら学べるのでやりがいがあります。この講座を受講して、約2カ月で日商簿記検定3級に合格しました。11月に</p>	<p>畑 智也さん <経済3></p>  <p>1年次から受講していますが、2年間で知識をインプットし、3年目は頻出問題を解くアウトプットと、3年間のステップがしっかりしているので継続して頑張れば、十分に実力がつくと思います。また、大学の授業は理論を学びますが、講座では解法を中心に勉強するので、理解しやすいです。模擬試験の結果を評価され、現在は国家I種選抜コースに進み、より高いレベルの講義を受けています。筆記試験対策講義のほか、「フォローアップゼミ」では、面接や集団討論の練習もしますし、過去問演習を徹底して行う「3000問ゼミ」も今年から始まりました。こうしたパッ</p>	<p>芦葉 甫さん <法2></p>  <p>1年次に「入門講座」で憲法、民法、刑法を、2年次からは神田キャンパスで商法、民事訴訟法、刑事訴訟法を学んでいます。講座は4月～9月までの半年間、毎週火・木に3時間ずつあり、約100人が受講しています。目指しているのは弁護士です。中学時代に中坊公平弁護士の書いた「私の事件簿」を読み、感動して以来の夢でし</p>

は2級にチャレンジします。講師の熱心な指導のおかげで効率的に学べるので、自信がつかます。また、実力をつけるため、勉強団体の「計修会」にも入会しました。自習室で先輩の指導が受けられるので心強いです。テニスが好きで高校時代は大会にも出場しましたが、今は公認会計士試験合格を目標に講座に集中しています。ぜひ現役合格をしたい、と思っています。



クアップ体制がしっかりしていることも僕たちにはありがたく、活用しています。高校の頃から公務員を志望していました。国家I種試験に合格し、自分の力で日本を少しでも良い方に変えていきたいと考えています。



た。難関だと思いましたが、この講座を受講してますます意欲が沸いてきたので、ぜひ突破したいと思っています。

実力をつけるため、いま現役弁護士が選抜制で行っている「特別短期合格ゼミ」(4月～9月)にも参加し、並行して指導を受けています。不思議なもので、最近はコンビニに買い物に行っても、売買契約や民法が自然に頭に浮かんできます。日常生活の出来事をいつの間にか法律で考えていて、それが楽しいです。



「高大連携」前期修了式

熊田さん、菅野さんに修了証

3年目を迎えた高大連携では、前期・後期と通年修了科目の生徒が本学で学んでいるが、このたび前期修了科目聴講生2人に対する修了式が生田キャンパスで行われた。

嶺井正也高大連携連絡協議会副座長から熊田大樹さん(神奈川県生田東高校)と菅野美恵さん(同百合丘高校)に修了証書が手渡されたあと、担当教員の講評、聴講生の感想、本学学生サポーターの感想、高等学校の各先生からそれぞれの立場で教育の在り方を見据えた言葉が述べられた。

熊田さんは「授業はある程度理解出来ました。ノートに書き留められなかった部分は終了後、直接先生に伺い、丁寧に教えていただきました。また、学生サポーターの方には授業前にアドバイスをさせていただいたり、パソコンの使い方を教えていただき、本当に感謝しています」。菅野さんは「高校と違って授業時間が90分と長いので、集中力を切らさないようにするのが大変でした。大学では自分が興味を持ったことを学べるという点がいいですね。今回の経験から、大学に入学したらしっかり勉強しなくてはいけないという意識が高まりました」と語った。



前列中央が嶺井教授。左は熊田さん、右が菅野さん

大学教員が教える 高校生のための英語学習法

今年も大好評

英語英米文学科の教員が、高校生に楽しく英語を学んでもらい、英語をもっと好きになってもらおうと企画されたセミナーが、今年も7月9日、16日の両日に開講され、延べ107人が参加した。

1・2年生と3年生のクラスに分かれ、1日2講座を受講。補助として参加したゼミ生たちも、英語力向上の秘訣を披露した。参加者は、「こんな学習方法があったのかと驚きました」、「高校でもこのような面白い授業をしてほしい」と感想を話した。

担当教員とテーマは次のとおり。

「通訳者の英語学習法」田邊祐司教授／「歌詞を通して英語の世界を探ってみよう」上村妙子教授／「コミュニケーションって難しくない！」ジェフリー C・フリックマン助教授／「学校で習った英語が使える・話せる！」片桐一彦助教授



丁寧に説明する片桐一彦助教授



リラックスした雰囲気を作るフリックマン助教授